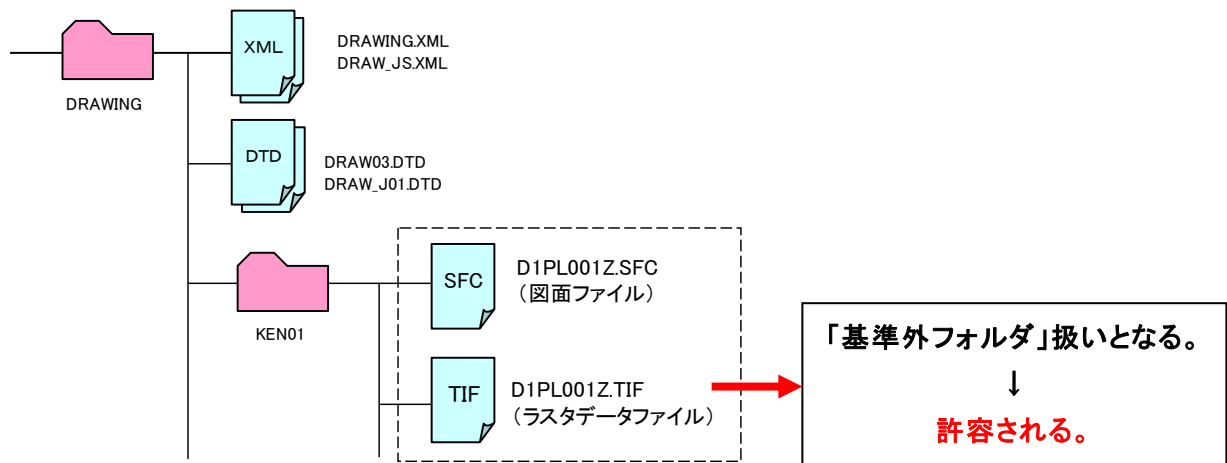


図面(CAD)のラスターデータが基準外フォルダ扱いとなる場合の対応について

JS 電子納品要領(設計用・工事用)では、ラスターデータについて以下のとおり定められています。(平成 20 年 4 月版。19 年 8 月版仕様はこれに準拠)

位置図・一般図等の図面で、背景として用いられる地形図等を表現する場合において、ラスターデータを用いる場合には、JACIC の CAD データ交換標準開発で公開されている「ラスターデータ交換仕様」(www.cals.jacic.or.jp/cad/developer/Doc/rasterR12.pdf)によるほか、次に示すとおりとする。

- (1) 1つの図面ファイルには、1つのラスターデータのみとする。
- (2) ラスターデータは、モノクロ、A0、400dpi 以下とする。
- (3) ラスターデータのファイル形式は、TIFF(G4)形式とする。
- (4) ラスターデータのファイル名は、参照元の図面ファイル名と一致させ、拡張子は.TIFとする(下図参照)。
- (5) ラスターデータのファイルは、参照元の図面ファイルと同じフォルダに格納する(下図参照)。



JS 電子納品チェックシステムでは、ラスターデータのファイルが格納されている場合、これが「基準外フォルダ」として扱われますが、これはJSから許容されており、修正の必要はありません。

お問い合わせ

(一財)下水道事業支援センター事業部 業務課

TEL. 03-6803-2685